

県内学校ミニ・ニュース (千葉県立長生特別支援学校)



地域と連携した 令和2年度ぼうさい甲子園 防災教育 → 優秀賞

本校は、海と緑に囲まれた自然豊かですばらしい学習環境にあります。一方で、海岸から400m海拔5mという立地のため津波の脅威から命を守る防災計画の改善が毎年の課題です。

小学部・中学部・高等部の各学部で、児童生徒の発達段階に合わせた防災教育を創意工夫して取り組んでいます。全校では、ミニ避難訓練も含めた津波からの避難訓練を年間10回程度行っています。

今年度は、1000か所ミニ集会で講師をお願いした千葉科学大学危機管理学部の藤本一雄教授からの助言を受けて、防災計画の見直しを図りました。

訓練の実施については、新型コロナウイルス感染防止に留意して、学部ごと、学級ごとの分散訓練としました。ミニ集会は、参加者数を制限して11月25日(水)に、「九十九里・外房地区に10m級の大津波警報が発令されたら、本校と地域はどのような対応をとったらよいか」というテーマで開催しました。保護者の他に地域の行政(防災担当)、放課後等デイサービス、消防の方々にパネリストとして参加していただき、パネルディスカッションを行いました。地域の連携による公助のあり方や、ブラインド型避難訓練(詳細なシナリオ提示と予告なしで行う訓練)による住民一人一人の自助意識の高揚について話し合われました。

長生特別支援学校 YouTube チャンネル ラップ♪ 防災 いってみよう!!



新型コロナウイルスを恐れてばかりではなく、どうしたら安心安全に楽しく学べるかをテーマに取り組みました。新しい生活様式に臨む心構えを歌いました。

「みんなで学ぶ地域防災」のテーマから小3時代に発表した「TSUNAMI」を思い出しました。一宮町民共通課題の津波について再び歌いました。

